

巻頭言

開学50周年記念号発刊に寄せて

学長 山本 裕之

今年、本学は創立50周年の記念の年を迎えました。1966年の開学から半世紀、本学の建学理念であります「社会で自立して活躍する女性の育成」を掲げ、実践してまいりました。このように記念の年を迎えることができましたのも、卒業生や保護者の皆様、そして地域の方々のご支援があつてのことと深く感謝申し上げます。2016年10月には記念事業として、50周年記念式典、記念講演会、祝賀会を挙行いたしました。

さらに、ここにまた50周年を記念し、本学の肝要な研究紀要である「研究論叢」を50周年記念号として発刊できますことは、本学の喜びであるとともに誇りとするところでもあります。「研究論叢」自体も今回の発刊で50号となり、まさに本学教育研究の50年の歴史を体現しています。

今回の記念号には12篇の論文が寄せられました。本学には各学科の研究紀要の他にも、大学院研究紀要、国際教育研究センター紀要など、多くの研究紀要があります。教員の研究活動が活発なことは誠に喜ばしい限りです。

本学は、学生への教育の充実を第一義に考えると宣言しています。学生一人ひとりの多様なニーズに応え、その成長を支援する教育を充実させるためには教員による活発な研究活動が不可欠です。研究活動は教育の前提であり基盤でもあるからです。教員が研究者・教育者として各々の研究課題に沈思黙考し、直向きに探求することは、研究者に課せられた使命でもあります。教員が探求し続ける姿勢は学生の学修意欲の向上にも繋がり、大学が高等教育機関としての責務を果たすとともに、何よりも教員が学生に対して自信と誇りをもって教育にあたることができるものと考えます。

研究活動は、大学の知的財産であるとともに社会の財産でもあります。この「知」を活用し、地域に貢献し愛される大学でありたいと願います。

この創立50周年を本学の新たな歴史の始まりととらえ、今後も、教育・研究・社会貢献のより一層の充実に努めてまいり所存でございます。